

令和4年度 第12回 市長定例記者会見

定例会見

日時：令和5年1月30日（月） 11：30～

会見内容

1. 発表事項

(1) 史跡岐阜城跡令和4年度発掘調査成果について

ぎふ魅力づくり推進部 文化財保護課

(2) 全国初 VR技術を活用した「バーチャル岐阜市子ども作品展」の開催について

教育委員会 学校指導課

(3) 岐阜市立 岐阜東幼稚園
「優秀園」受賞（ソニー幼児教育支援プログラム）について

教育委員会 幼児教育課

1-(1) 令和4年度史跡岐阜城跡山上部発掘調査成果について

1 令和4年度発掘調査成果

今年度は、

- ①一ノ門 (約 330 m²)、
- ②天守東側 (約 160 m²)、
- ③天守南西部 (約 30 m²)

の3か所で発掘調査を実施 (合計約 520 m²)。

調査期間は令和4年10月20日から

令和5年2月中旬頃を予定。



令和4年度発掘調査箇所

①一ノ門では、**2つの時期の門**があることを確認。

- ・信長期の門は、**岩盤を平らに削って柱を立てる構造** (令和2年度確認)。
- 道三期の門は、**穴を掘って柱を立てる構造** (令和3年度確認)。

- ・また、門の脇には**岩盤を掘り抜いた巨大な穴**を確認

- ・**底部に木材が残存**するが、遺物が出土せず**時期不明**。
⇒ **年代の測定**や**樹種の特定**などの科学分析により、
機能解明に迫りたい。



確認した穴

②天守東側では、

- ・令和3年度に、**石垣一石を確認** (黄○印の石)。

- ・今回、**池田輝政期の石垣の続き部分**に、
長さ約2m、高さ約2m、最大4段分の石垣を確認。
⇒ 想定よりも**石垣の残存状況が良かった**。

- ・石垣前面に**瓦を大量に含む層** (緑○印) が堆積。
⇒ **瓦葺きの建物**に使われたものが廃棄。



確認した石垣

⇒ 今後瓦を取り上げ、**石垣の全容解明**を目指す。



出土した瓦 (令和3年度)

③天守南西部では、信長期に築かれた天守台南西隅とみられる石垣を確認。

天守台石垣は、明治43年の初代復興天守建設の際、規模を縮小して積み直されたため、当時の石垣は残っていないと考えられていた。

- ・今年度の調査で石垣の石材を^{せきざい}2石確認。
石材の大きさは約0.8m×0.7m。



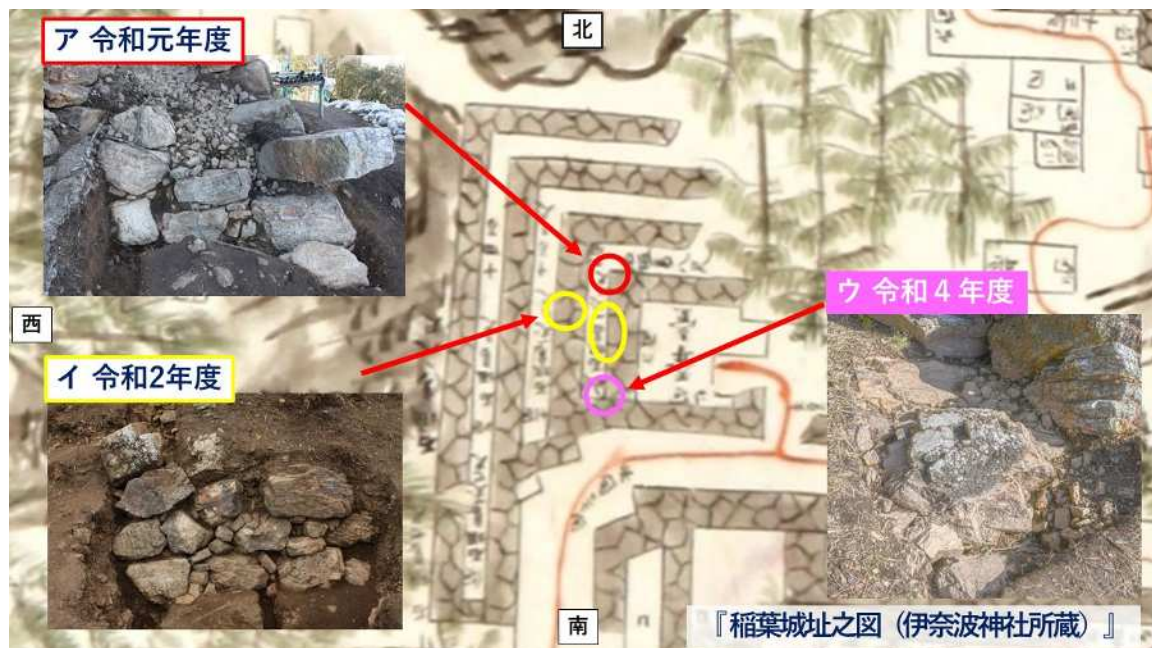
令和4年度調査箇所（南→北向き）



見つかった石垣

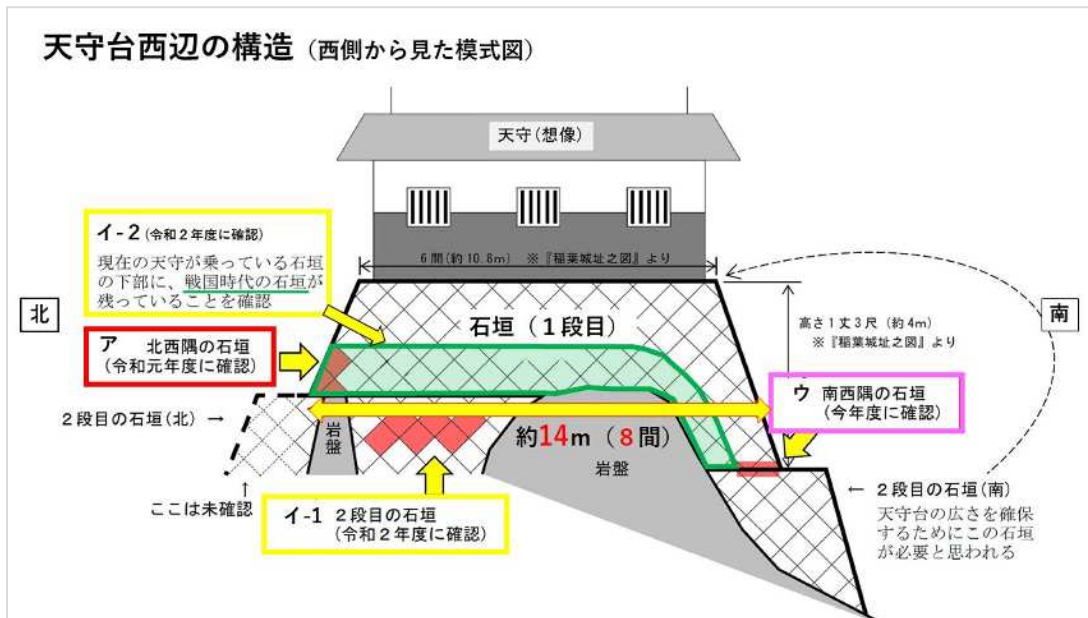
・天守台^{にしへん}西辺の調査成果

- ア 令和元年度：北西隅で信長期とみられる石垣を確認。
- イ 令和2年度：2段目の石垣を確認。さらに現在の天守が乗っている石垣の下部に、戦国時代の石垣が残っていることを確認。
- ウ 令和4年度：令和2年度までに確認した石垣の延長部分の南西隅において、石垣を確認。



『稲葉城址之図』に描かれた天守台の石垣
(伊奈波神社所蔵) ○が調査箇所

- ・北西隅で確認された**信長期とみられる石垣**から、
南西隅で今回確認された**石垣まで一連の石垣**と考えられる。
- ・南北の石垣の**確認**により、
天守台西辺の長さは**約14m**（約8間）。
下段の石垣を土台として**天守台が造られている**ことが判明。



なかい ひとし

中井 均 氏（滋賀県立大学名誉教授 日本城郭史）のコメント

令和元年度に発見された信長期天守台の北西隅の石垣に続き、今年度の調査でその続きの南西隅の石垣が確認された。これにより、**天守台西辺の規模や構造が解明された意義は大きい。**

今回の発見は、日本城郭史において、安土城で完成したとされる「天守」の起源を考える上でも重要な発見である。

また石垣は『稲葉城址之図』にも描かれており、改めて**絵図の信頼性の高さ**を確認できたことも大きい。

今後のさらなる調査の進展により、**信長が造り上げた岐阜城の真の姿が解明されることを期待**したい。

2 発掘調査現場の一般公開およびオンライン報告会

〔発掘調査現場の一般公開〕 ※申込不要（雨や雪の場合中止）

公開日時：令和5年1月31日（火）～2月5日（日） 各日10時～15時

公開場所：一ノ門、天守東側の2カ所

- ・天守台南西部は、狭く危険なため**非公開**とし、石垣の**写真**パネルを天守南側に**展示**。
- ・資料は、山麓の「**日本遺産・信長居館発掘調査案内所**」にて配布。

〔オンライン報告会〕

開催日時：令和5年2月18日（土）10:00～11:30

- ・岐阜市と山県市の共同での開催となり、**参加料無料**で、**戦国ドラまちEXPOのホームページ**から**事前申込**が必要。**岐阜城**と**大桑城**の**最新調査成果**を紹介。



3 山上部石垣周辺の整備について

令和3年12月に策定した『**史跡岐阜城跡整備基本計画**』に基づき、山上部の**登山道沿いの石垣**を対象とした整備を実施する。

①天守南西通路石垣周辺の樹木管理

実施時期：2月

対象範囲：300 m²（通路北側）

天守南側通路の両側には、**信長以降に築かれた石垣**が良好に残されている。

石垣の**保存**と**公開**、**安全確保**の観点から影響を及ぼしている**樹木の伐採**を行う。

今後、令和6年度まで継続して行う予定。

②二ノ門西側の石垣保護網設置

実施時期：2月

対象範囲：約35 m²

登山道沿いに残る**道三公が築いた石垣**に変形がみられることから、**石垣の保護・崩落防止のための網**を設置する。



整備箇所



①天守南西側通路の石垣（信長期）



②二ノ門西側の石垣（道三期）

1- (2) 全国初 VR技術を活用した

「バーチャル岐阜市子ども作品展」の開催について

1) はじめに

- ・岐阜市内の子どもたちが制作した
図画工作や美術作品、書写作品を
展示する「岐阜市展」について
- ・以前 …展示会場での開催
昨年度、一昨年度…コロナ禍で従来の展示会が開催できず
本年度…VR技術を活用し、
「バーチャル岐阜市子ども作品展」として開催



2) 概要

- ・「バーチャル岐阜市子ども作品展」
バーチャル上に「ぎふメディアコスモス」の展示会場を作り出し、
そこを訪れて、子どもたちの作品を鑑賞いただくもの
- ・「広報ぎふ」や「ぎふメディアコスモス」のホームページなどに
掲示されるQRコードなどからアクセス
- ・出品数（予定）
幼児と児童生徒合わせて約1,000点
- ・会期
令和5年2月20日（月）～ 3月24日（金）（33日間開催）
- ・作品のデジタル化
作品を選択すると
 - ・作品が拡大できる
 - ・作品への思いなどが書かれたコメントが表示される⇒作品をより深く理解できる仕組み
- ・実在する会場や1つ1つの作品をデジタル化し仮想空間上で鑑賞いただく方法
⇒自治体が主催する子どもたちの作品展としては全国初の試み

3) 期待する効果

- ・鑑賞する**時間**や**場所**の**制約がない**
⇒日中時間が取れない方や、遠方の方でも、**スマートフォン**などから、
いつでも
どこでも
お気軽に
鑑賞いただける
- ・これまで…会場の関係から週末2日間のみの開催
今回 …**33日間、24時間**開催
⇒**多くの来訪者**が期待できる
- ・**ログ**や**アンケート機能**から来訪者の情報等が得られる
⇒本事業に対して、**エビデンスに基づく評価や分析**につながる
- ・**子どもたちは**、学校や自宅にしながら**1人1台タブレット端末**で鑑賞できる
⇒他の作品から表現方法を学んだり新しい発想が生まれたりするなど、
創造力を育むことも期待できる

1-(3) 岐阜市立 岐阜東幼稚園「優秀園」受賞(ソニー幼児教育支援プログラム)について

1 趣旨

- ・岐阜市立 岐阜東幼稚園が
2022年度 ソニー幼児教育支援プログラム 保育実践論文 において、
乳幼児施設としては、岐阜県内で初となる優秀園を受賞
- ・応募数 162園
- ・贈呈式 令和5年1月28日(土)
ソニーグループ本社にて(園長と担当者が出席)
- ・副賞 教育助成金30万円、ソニー製品のデジタルカメラなど
- ・その他 今年度初めて応募

【2022年度ソニー幼児教育支援プログラム 入選園数・助成内容】

最優秀園(2園)	200万円とソニー製品
優秀園(9園)	30万円とソニー製品
優良園(17園)	10万円とソニー製品
奨励園(49園)	5万円とソニー製品

2 ソニー幼児教育支援プログラム

- ・主催 公益財団法人 ソニー教育財団
- ・テーマ 「科学する心を育てる」
- ・内容 未来を生きる子供の成長を願い、乳幼児教育支援として、
2002年度に開始したプログラム。
独自性のある保育実践と今後の方向性をまとめた論文を募集。
その実現のための支援や、入選園の実践事例を広く公開。

3 保育実践論文

- ・タイトル 「遊んで、遊んで、とことん遊び込む！！」
- ・内容 遊びの中から生まれた願いを、仲間とともに
試行錯誤しながら実現し、その喜びを分かち合う、
という繰り返しの中で、「科学する心」が
育まれていく。
- ・評価 経験を土台に、大人の予想をはるかに超えていく
子どもの気づきや思考が、さらに豊かなものになるよう環境を整え、
考察を重ねていく教育が評価
- ・公表方法 論文を、この後、市のHPに掲載



4 参考資料

- ・岐阜市公式 Youtube チャンネル

「岐阜東幼稚園」制作

知的好奇心・探究心を育む♪幼児教育「なんだろう！？プロジェクト」

<https://youtu.be/rIenycGv4Ek>



QR

- ・公益財団法人 ソニー教育財団HP

(2022年度 ソニー幼児教育支援プログラム 保育実践論文入選園情報URL)

https://www.sony-ef.or.jp/program/result_preschool.html



QR

実践論文概要

論文テーマ 「遊んで、遊んで、とことん遊び込む！！」

～心が動く瞬間（とき）に寄り添う環境構成や援助を考える～

研究の方向 子どもたちの遊びの中に

A：気づき、感じる段階

B：問いや願いをもち、知ろうとしたり、考えたりする段階

C：見立て、思いをめぐらせ、試行錯誤する段階

D：伝え合い、分かち合う中でイメージを広げる段階

があり、この4段階を繰り返すことで、達成感や充足感を味わい、生涯の学びを支える「科学する心」を育むことにつながると考え、実践を重ねた。

実践事例

①甘い蜜から始まった草花への興味 ～花・葉っぱクイズ～

②大きくて割れないシャボン玉を作りたい！～シャボンズの挑戦～

③カラフルプラネタリウムを作りたい～光と遊ぼうプロジェクト～

④マイナスを感じてみたい！～氷の不思議～

研究成果

実践を通して、「科学する心」の4段階を繰り返すことにより、子どもたちに身近な環境から心を動かす豊かな感性や創造性の芽生えが育まれていくこと、また、子どもの心が動く瞬間（とき）に視点を当て、子どもと共に教師も心を動かし、遊びを双方向に創り出すことが、子どもの成長につながっていくこと等を研究成果としている。

大きくて割れないシャボン玉を作りたい！～シャボンズの挑戦～



カラフルプラネタリウムを作りたい～光と遊ぼうプロジェクト～



マイナスを感じてみたい！～氷の不思議～

